



高岡市では、ここに笑顔の毎月25日は「たかおか健康づくりの日」としています。
この日はご自身やご家族で、地域で、健康づくりに取り組みましょう。

みどころ

木津の地に人々が住み着いたのは、遺跡出土品からみると約3000年前の縄文時代後期以降ではないかといわれています。

地名で木津または、木津〇〇と表示されている所は全国で15ヶ所あります。その中の1ヶ所が高岡市木津です。木津という地名は木材を集積する港(津)で、そこから木津の字句が生まれたといわれています。千保川(旧庄川)との関連も深いのでしょうか。

① 水道源井

清水町から泉ヶ丘に向かう幹線道路沿いに市水道局の3つの源井がある。1号、2号、4号源井で、これらの源井塔は、高岡市水道創設の水源として、清水町配水塔とともに昭和初期に完成した。平成2年に休止するまで60年間、市内へ給水する水源として利用されてきた。現在は、非常時の水源井として残されている。



② 円通寺

今から700年前、和田川に黄金に輝く薬師如来像がながれつき村民が祠を建て祀ったのが円通寺となる。円通寺は高岡新西国19番観音札所になっている。



③ 西の宮観音堂

朝倉氏の客分であった吉田大炊之介が諸国遍歴の末、この地木津にとどまり屋敷を建て住んでいた。慶長14年(1609年)前田利長公が高岡の地に築城した際に一里四方、浪人が追放となったため、吉田氏も一石をもらって中田町へ移り住んだ。屋敷跡に祠を建てて祀っている。



④ 一文橋～桜並木～南星橋

藩政の頃、千保川を渡る際に「渡橋料」として一文銭を徴収したことから一文橋とよばれた。右岸には桜並木の遊歩道が、整備され春はお花見の名所になっている。

